

特 集

全国左官技能競技大会と 技能伝承・人材育成の取り組み

建設業における人手不足と人材育成の問題は、これまでも大きな課題として挙げられてきた。建設インフラを健全に維持しつつ、将来に向けて永続的に社会基盤を築いていくためにも、それを下支えする建設業が抱える構造的な課題が日本社会に大きな影を落としている。そうした中で建設従事者に対する社会的地位の向上と就労環境処遇改善、賃金引き上げ、働き方改革や2024年問題など、国交省をはじめとして業界団体の間でも対策が進められている。

一方で、大手ゼネコンを中心に建設技能者・技術者不足を補うための現場のデジタル化やDX化、施工仕様の効率化などが進められているが、左官を始めとする技能者の経験と技術、その手仕事に依存する部分が依然として多く、新たなニーズに対応する新技術の習得のほか、これまでの伝統技術を後世へとつなぐ技能伝承といった人材育成の分野はこれまで以上に重要となってくる。

本稿では、左官日本一の称号を目指して技能を競い合う第49回全国左官技能競技大会を取り上げ、大会が業界に与える意義と主催団体である日本左官業組合連合会の石川隆司会長に人材育成と技能伝承の取り組みについて話を伺い、業界の展望について紹介していく。 (編集部)

大会レポート

第49回全国左官技能競技大会、
帯広市の「よつ葉アリーナ十勝」にて開催 12

インタビュー

変革の時代だからこそ、左官技能の継承と研鑽を 18
— 日左連における人材育成と技能継承のための取り組みについて —
— 一般社団法人 日本左官業組合連合会 石川 隆司 会長に聞く

第49回 全国左官技能競技大会
主催 / (一社) 日本左官業組合連合会

